



平成19年4月25日

国土交通大臣 冬柴 鐵三 様

要 望 書



「最上小国川ダム」の新規建設採択について

H18.12.27 降雨と融雪による最上小国川の出水状況 (赤倉温泉地区)

山形県知事 齋藤 弘

1. 要望の項目

^{もがみおぐにがわ}
「最上小国川ダム」の新規建設採択をお願い申し上げます。

2. 要望の内容

最上小国川は、山形県最上郡最上町を西流し、山形県最上郡舟形町で最上川に合流する延長39kmの一級河川であります。古来より町中流部に開けた農地の灌漑用水や生活用水、発電など多岐に利用され、住民生活に重要な役割を担っている他、鮎の釣れる川として全国で名の知れた自然豊かな河川であります。

しかしながら、沿川地域においては、台風や梅雨前線による集中豪雨のたびに洪水が発生しており、特に、流域上流部に位置する赤倉温泉地区では近年においても床下、床上浸水に見舞われ、地区住民や旅館宿泊客が避難する事態に陥るなどの被害を受けております。このため、県は当地域住民の生命と財産を守るための治水対策を行うことを緊急の課題ととらえる一方、アユ等の生息環境への影響等について議論を重ねてまいりました。

この度、最上川水系流域委員会より「治水対策は穴あきダムを含む河川整備による」との意見書を受け、県としてはアユ等の生息環境への負荷が小さい「穴あきダム」による整備を決定したところです。つきましては、これらの経緯を踏まえ、早期に安全で安心して暮らせる豊かで住みよい街とするため、平成20年度の「最上小国川ダム」の新規建設採択について、要望いたします。

最上小国川ダム [通常・治水] (山形県) 【新規建設採択】

最上小国川ダム 完成予想図
一穴あきダム



— 近年の洪水被害状況 —

S.49.8 集中豪雨による被害状況



H.10.9 台風による被害状況



H.18.12 低気圧による降雨と融雪による被害状況



- S.49.8 集中豪雨による被害
全壊1戸、半壊2戸、床上浸水61戸、床下浸水278戸、道路欠損27箇所、農地冠水700ha。
- H.10.9 台風による被害
床上浸水11戸、床下浸水7戸(赤倉温泉地区)。
- H.18.12 低気圧による降雨と融雪による被害
床上浸水2戸、床下浸水6戸(赤倉温泉地区)。